



保育学科の教育・学生支援



保育学科の教育にとって大変重要なのが、学外で行う実習です。授業で学んだ子どもについての知識や保育についての理論、子どもと関わる場面を想定して行う演習など、学内で学んだことを確かめる場として実習は欠かせません。保育学科では、保育士資格を取得するための実習が30日、幼稚園教諭二種免許を取得するための実習が20日あります。

実習期間中、学生たちは保育士、幼稚園教諭の卵として、現場の先生方の指導を受けながら保育者としての職務を行いつつ、時には子どもたちの前に立って手遊びや絵本の読み聞かせなどをします。ハイライトは「研究保育(責任実習)」と呼ばれる実習で、学生は自分で立てた計画にもとづき、保育を実践します。自分はクラスの子どもたちのことをどこまで理解できているか、事前に立てたねらいと実際の保育の内容は適切なものだったかなど、学生たちはハードルの高い課題に取り組めます。

実習は苦勞も多いですが、保育の仕事のやりがいや、子どもと共に過ごす時間のかけがえのなさを実感できる貴重な機会です！



キャンパスライフ



◎学生会が七夕飾りをしました(7月4日)

短大には学生主体で行う様々な行事がありますがそれを主に行っているのが「学生会」になります。学生会は前期が終りに近づくこの時期に七夕飾りを行っています。今年の趣向としては、事前に願い事を書いた短冊を各自で飾ってもらい、抽選で景品をプレゼント。抽選会後、本格的に飾り付けを施し、前期いっぱい展示されます。



(写真上) 願い事だらけの七夕飾り

◎学生のボランティア活動

ボランティアサークルひまわり会のデイキャンプが7月8日にアクトビレッジおの(宇部市)で行われました。ひまわり会はダウン症の方々と楽しい余暇活動を行う、今年で設立40年を迎えるサークルです。

当日はご本人、きょうだい、保護者も含め40名近い参加があり、午前中は体育館で自由に身体を動かし、午後はクラブ体験を楽しみました。

活動は年に5回ですが、学生たちにとって貴重な出会いと体験の場になっています。



(写真上) 絵本の読み聞かせ

『指針』と『要領』について

小学校に就学する前の子どもたちが過ごす幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園。これらの施設で行われる教育や保育は何をもとに行われるのでしょうか。

答えは、幼稚園は『幼稚園教育要領』、保育所は『保育所保育指針』、そして幼保連携型認定こども園は『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』です。

子どもたちが全国どこの園に行っても、一定の質が保たれた保育・幼児教育を受けられるように、保育とは何か、幼児教育とは何か、保育や幼児教育で大切にすべきことは何か、保育者が果たすべき仕事は何かが示されています。『指針』も『要領』も、必ず従うことが求められている「告示」の位置づけです。

保育者を目指す人にとって必読の「指針」と「要領」。子どもにとって最善の保育・幼児教育を行うために、その内容を深く理解することが求められます。

保育豆知識

イベント予告

夏のオーキャン

保育園・幼稚園の先生に話を聞こう！

開催時間:13:00~16:00(いつでもオーキャン 入退場自由) 受付開始時間:12:30~

<8月・9月のオープンキャンパス>

8/4(土) 学科イベント「保育園の先生に話を聞こう！」「ドキドキ☆わくわく！作って遊ぼう!!」

8/22(水) 学科イベント「幼稚園の先生に話を聞こう！」「子どものお話世界へようこそ！」

9/8(土) 学科イベント「入試説明会」

その他、「個別相談」コーナー(就職・奨学金・学生生活全般について何でもご相談)、「教えて先輩」コーナー(在学生の生の声)など、盛りだくさん。

無料送迎バス有り▶詳しくはホームページでご確認ください。

